

# 支援部だより

今回のテーマは【常時装用】



入学・進級おめでとうございます。

さて、今回のテーマは「常時装用」です。

日々、難聴のお子さん達は、学校でも家でも、朝起きてから寝るときまで(入浴時は外しますね)、補聴器や人工内耳を装用しているまたは、目指していることでしょう。

難聴者には、この「常時装用」がとっても大事なのです。

家の中は静かだし、「聞こえているからいいや」と、思いがちです。しかし…



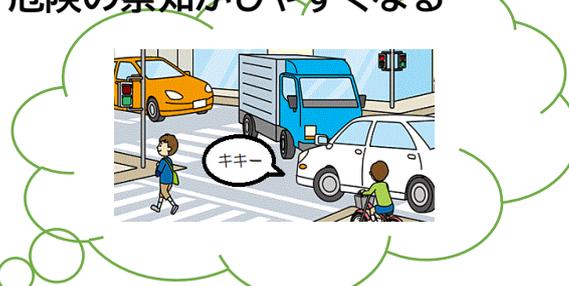
お子さんの言う「聞こえるよ」は、聞こえてない音があることに気付いていないので、『ぼく(わたし)に聞こえる音は聞こえているよ』ということなのです。

補聴器や人工内耳を、寝るまで装用できるようにしましょう。そうすると、こんなにいいことがあります。

言葉がはっきり届く



危険の察知がしやすくなる



小さな音が聞こえる



よりいい音でテレビや電話を



常時装用していると、環境音が聞こえる中でも気にせず会話ができるようになります。

これは、脳に環境音の記憶が残るためです。その記憶を残すためには、1日11時間、3か月～6か月の装用が必要といわれています。

ですから、学校に行くときだけとか、必要なときだけ使用するといった使い方では、いつも周りの音がやかましいと感じることになります。

ぜひ、補聴器や人工内耳の常時装用をして、家の中でも、通学途中の車の中でも、買い物時でも会話をもっともっと楽しんでください。